

2016年度ピースセミナー 核兵器のない世界をめざして

～子どもたちが安心してくらせる未来を残すために～



世界にはまだ1万数千発もの核兵器が存在しているといわれています。核兵器は非人道の極みであり、絶対悪です。この「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向けて、私たちに何ができるのか。今年度は、「子どもたちが安心してくらせる未来を残すために」をテーマに、毎年のように沖縄を訪れ、国のあり方、平和について考えを深めてきた落合恵子さんを講師にお迎えして、幅広い視点からお話を伺いました。

日時：2016年12月 1日（木）
10:00～12:00
場所：中野サンプラザ 7階 研修室10
講師：落合恵子氏（作家、クレヨンハウス代表）
参加者数：67名（事務局含む）
主催：東京都生協連 平和活動担当者連絡会



司会：吉村真由美さん
（コープみらい理事）



日本被団協を中心に国際署名運動が始まります。東京の生協でも取り組んでいきたいと考えています。

開会挨拶：竹内 誠
（東京都生協連専務理事）



10:00	開会
10:05	講演会
11:45	まとめ、アンケート記入
11:50	閉会

講演会



講師：落合恵子さん

「子どもたちが安心してくらせる未来を残すために」というテーマでしたが、落合さんは、子どもたちのためだけでなく、私たちの明日のために、今現在、大人である自分に何ができるかという視点でお話をしてくださいました。特にガンジーの箴言「あなたがすることのほとんどは無意味であるが、それでもしなくてはならない。そうしたことをするのは、世界を変えるためではなく、世界によって自分が変えられないようにするためである。」を引用して、行動者の姿勢を紹介していただきました。講演会は「核兵器のない世界をめざして」「反原発」「反差別」など、多岐に渡ったテーマで、作家、詩人、偉人、政治家など、様々な分野の方たちの言葉を用いながら、今起こっている政治的問題などにも絡めたお話には、会場のみなさんもうなずきながら聞いていました。お話の内容もとてもわかりやすく、「落合さんのお話を聞いて、今までモヤモヤしていたものがスッキリしました！」という感想も多く出されていました。アナウンサーやラジオのDJの経験もある落合さんの言葉は、私たちの心に深く、強く、響きました。

落合さんが、広島に原爆が落とされた後の出来事が描かれた詩を朗読してくださいました。この時に生まれた赤ちゃんが無事だったと聞き、少し救われた気持ちになりました。

『生ましめんかな』

こわれたビルディングの地下室の夜だった。
原子爆弾の負傷者たちは
ローソク1本ない暗い地下室を
うずめて、いっぱいだった。
生ぐさい血の匂い、死臭。
汗臭い人いきれ、うめきごえ
その中から不思議な声が聞こえて来た。
「赤ん坊が生まれる」と言うのだ。
この地獄の底のような地下室で
今、若い女が産気づいているのだ。

栗原 貞子

マッチ1本ないくらがり
どうしたらいいのだろう
人々は自分の痛みを忘れ気づかった。
と、「私が産婆です。私が生まれましょう」と言ったのは
さっきまでうごめいていた重傷者だ。
かくてくらがりの地獄の底で
新しい生命は生まれた。
かくてあかつきを待たず産婆は血まみれのまま死んだ。
生ましめんかな
生ましめんかな
己が命捨つとも

本の紹介



講演の中で、落合さんの本が何冊か紹介されました。その中の1冊、CD 絵本の「空より高く」。この、本のタイトルにもなっている「空より高く」という歌は、クレヨンハウスが子どもたちに新しい歌を歌ってほしいと1990年につくった歌。2011年3月の東日本大震災の後、岩手県のある保育園の園長さんから「被災地への応援歌として歌われている」という話を聞き、子どもたちだけではなく、私たち大人もこうでなければいけないとのメッセージもこめて2013年に CD 絵本として出されたそう。売上金の一部が被災地への義捐金として使われているそうです。



まとめ

落合さんから、素敵な言葉とパワーをいただきました。
「言葉の力を信じていこう」「自分たちができることは小さいけれど、何かを残すことはできる」「いつだって社会を変えてきたのは少数派」など。一人一人ができることは限られているけれど、できることから少しずつでも行動する、声に出していく大切さを教えていただきました。
「自分のために、自分の誇りのために、次の世代のために、自らが言葉を持って、いろいろな人の心をノックしてほしい」
子どもたちが安心してくらす未来をのこすために、私たちができることから始めてみようと思いました。



アンケートより（抜粋）

（アンケート提出52枚）

あの落合恵子さんのやさしい語り口調でお話を伺えたこと、その時間が幸せでした。落合さんの強い想い、気持ち、社会のあり方、勇気をたくさんいただきました！（30代女性）

結果が出なくても、今でなくても、デモをやり続ける。NO と声をあげ続けることが大切だとおっしゃった落合さんの言葉が胸にささりました。自分たちができることは小さい、でも何かを残すことはできる。今日はステキな一日になりました。これからもご活躍をお祈りしています。（50代女性）

核兵器のない世界、反（脱）原発、反差別など、人がひとらしく生きる世の中の実現のために力強く闘っている落合さんの姿に勇気をもらいました。あきらめてはいけなくて強く思いました。（60代女性）

“会場を出てから5人に話そう” そう思いました。言葉の力に圧倒されました。ありがとうございました。（60代女性）

とても素晴らしいお話でした。いつも自分が感じていたこと、思っていたことをお聞きすることができて私自身スッキリしています。変わることをなく活動していきたいと思えます。（70代以上女性）

深く共感しました。ありがとうございました。戦争や差別をなくすために、長いこと活動してきました。めげずにこれからもやっていきます。勇気をもらいました。（60代女性）

勇気をもらえる言葉をたくさんいただいたと思います。小さな正義感を忘れずに、少なくとも5人に伝えていきたいと思えます。（50代女性）

いろいろな人の言葉を引用して話していただき、とても興味深いお話でした。核兵器についてだけでなく、幅広い視点から自分たちにできる行動を起こす必要があると感じました。（40代女性）

